

2022年1月11日

デンカ株式会社

## 使用済みポリスチレン樹脂のケミカルリサイクルプラント建設を決定 ～SDGs 達成に向け、廃プラスチックの再資源化による脱炭素・循環型社会の構築を目指す～

デンカ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：今井 俊夫）と持分法適用関連会社である東洋スチレン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：松下 三四郎）は、使用済みポリスチレン（PS）樹脂のケミカルリサイクルプラント建設（年間処理能力：約 3,000t）を決定しました。当社千葉工場（千葉県市原市）敷地内に建設し、2023年度下期の稼働開始を予定しています。

脱炭素・循環型社会構築のためには、石油資源の新規投入量を減らして廃プラスチックを再資源化することが求められます。ケミカルリサイクルはマテリアルリサイクルと異なり再利用用途に制限がなく何度でも再生できるだけでなく、ポリスチレンは他のプラスチックと比較して、ポリマーから中間化学品であるモノマーに熱分解し易いというスチレン系樹脂ならではの長を最大限活かすことができる手法です。

東洋スチレンでは今後、世界で初めて使用済みポリスチレンからスチレンモノマーに変換するケミカルリサイクルプラントを事業化した米国 Agilyx（アジリックス）社との技術ライセンス契約に基づき、ケミカルリサイクルプラントを建設し、ユーザーからのポストインダストリアル材の回収事業を開始いたします。また、SDGs 未来都市である千葉県市原市が取り組む「市原発サーキュラーエコノミーの創造」において、市民・企業・行政が一体となったプラットフォームへの参加を予定しています。

デンカグループは SBC 樹脂や MS 樹脂などの透明樹脂から、耐熱付与剤をはじめとする高機能樹脂、食品包装材料・容器まで、スチレンチェーンで繋がる様々な製品を供給しており、自動車から家電、食品まで幅広い用途で使用され人々の生活を支えています。石油化学系製品を製造する企業としての社会的責務を果たすため、スチレンチェーン全体でのケミカルリサイクル活用を目指し、脱炭素・循環型社会の早期構築に貢献してまいります。

当社は今後も SDGs を羅針盤に、誰よりも上手にできる仕事で全ての人がより良く生きる世界をつくる、社会にとってかけがえのない企業を目指してまいります。

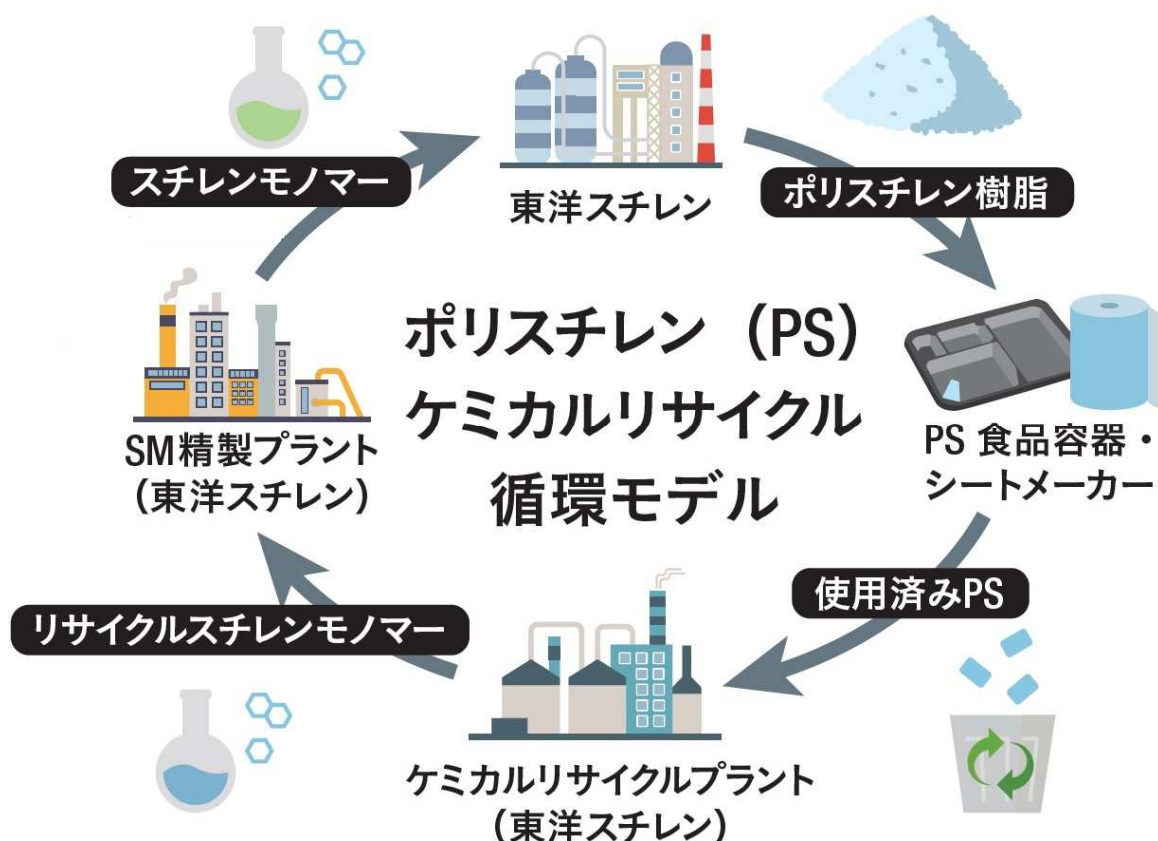
以 上

## 1. 投資概要

- ・投資拠点：デンカ株式会社 千葉工場敷地内（千葉県市原市五井南海岸 6）
- ・投資内容：使用済みポリスチレン樹脂のケミカルリサイクルプラント設備の導入
- ・投資金額：約 38 億円（見込）
- ・処理能力：約 3,000t/年
- ・稼働時期：2023 年度下期（予定）

※本件による 2021 年度当社連結業績への影響はありません。

## 2. ポリスチレン（PS）ケミカルリサイクル循環モデル図



## 3. 東洋スチレン株式会社について

デンカ株式会社持分 50%、日鉄ケミカル&マテリアル株式会社同 35%、株式会社ダイセル同 15%

<http://www.toyo-st.co.jp/>

【ご参考：本件に関連する過去プレスリリース（当社ホームページ）】

- ・2020 年 4 月 13 日 「ポリスチレン樹脂のケミカルリサイクルの事業化に着手」

[https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/718/20200413\\_denka\\_ps\\_chemical\\_recycle.pdf](https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/718/20200413_denka_ps_chemical_recycle.pdf)

【報道関係者からのお問い合わせ先】

コーポレートコミュニケーション部 電話：03-5290-5511